



「美しい日本の心」

坊 やすなが プロフィール【略歴】

昭和42年北区八多町生まれ 八多保育園卒園後
地元幼、小、中、県立神戸北高校を卒業

平成元年 佛教大学文学部卒業
同 年 衆議院議員 砂田重民 秘書
平成11年 自民党兵庫県連 青年部長
平成12年 衆議院議員 公設第一秘書
平成15年 神戸市会議員に初当選(現4期)
市会常任委員長、特別委員長等を経て
平成24年 自由民主党神戸市会議員団 幹事長
平成25年 神戸市監査委員 議選委員
自民党政令指定都市青年議員連盟 会長
平成27年 市会運営委員会 委員長
平成28年 神戸市会 副議長
現 在 観光交流都市推進神戸市議員連盟 会長
自民党神戸市支部連合会 選挙対策委員長

北区人口減少について

西鈴蘭台駅の再開発
へも頑張ってます!

Q 坊やすなが議員 6月定例会 住宅都市局
平成30年6月25日

鈴蘭台・西鈴蘭台・北鈴蘭台駅周辺の建築物の高さ制限や
容積率の緩和等を図り、利便性の高いまちづくりを!



神戸市全体では約3000人、北区本区では、約1000人の
人口が減少している。その原因として、坂の多い鈴蘭台では高齢
者には住みづらく、利便性の高い市街地へ移り住む市民が多いの
ではないか。

人口流出を抑制し、移住・定住を促進するためには、建築物の
高さ制限や容積率の緩和等を図りながら、駅前にマンション等の
住宅や公共施設、商業施設等の機能を集め、シニア世代には利便
性が良い駅周辺へ、そして若者・子育て世代には、ニュータウン
などの空いた住宅を最先端の技術やサービスを取り入れ住みたい
と思える住環境に整えるなど、年齢構成のバランスのとれた街
をつくっていくことが重要であると考えているが、見解を伺いたい。

A 岡口副市長

拠点性を高めるまちづくりのために、例えば都市計画
も含めた幅広い手法を用いて検討していきたい。

人口減少社会におけるまちづくりでは、駅周辺の拠点性を高
めていくことが一番重要であります。鈴蘭台等では既に再開発
を進めているが、今後も拠点性を高めるまちづくりのために、
例えば都市計画も含めた幅広い手法を用いて検討していきたい
と考えている。

海洋産業の発展について

新産業の育成に向け
頑張ってます!

Q 坊やすなが議員 6月定例会 企画調整局
平成30年6月25日

海洋産業を新たな産業として推進していくに
あたり具体的にどう進めているのか。



世界トップクラスの海洋産業先進地域である英国アバディーン
市を久元市長、神戸大学、川崎重工をはじめとした市内3企業と
共に訪問致しました。

同市との間で海洋産業の振興・人材育成についての連携や、
水素・再生エネルギーに関する知見の共有等に係る意思確認書
を締結したところでありますが、今後どのように具体的にどう
進めているのか、見解を伺い致します。

容器包装プラスチックについて

効率的なリサイクル
政策を進めて参ります!

Q 坊やすなが議員 決算特別委員会 環境局
平成30年10月2日

コスト高のプラスチックの収集をやめて、ごみ発電の
燃料として使用すれば、逆に収入が増えるのでは。



容器包装プラスチックは市民の方々が分別し、それを環境局が
取りに行き、3箇所の中継地に委託民間業者が取りに来て、リサイ
クルを行っている。しかし、このプラスチックの約2割はリサイ
クルされているが、あとはアンモニアとなったり、燃料として燃や
されている。

この政策コストには、結局10億円ぐらいは掛かっていると思
うが、最終的には燃やしてしまうと考えると効率的な政策では
ない。

神戸市のごみ処理場は、ごみ発電機能が備わっているため、
容器包装プラスチックの分別をやめて、一般ごみとプラスチック
を燃料として燃やして発電し、電力を売電すれば、逆に収入が増
えるのではないかとと思うが、その点についてどう思うか。

A 環境局局长

入収集運搬も含めて、多くの
経費がかかっている。



容器包装プラスチックは容器包装リサ
イクル法に基づき行っている。ご指摘の
とおり、収集運搬も含めてリサイクルす
るために、多くの経費が掛かっている。今後
判断をしていく必要があると思っている。

A 久元市長

様々な分野でどういう様な方向を目指していくのか
具体的に施策をどう展開するのか考えて行きたい。

海洋産業は、造船や海洋構築物、水中
ロボットなどのものづくりの分野、石油・
天然ガス、鉱物・レアメタルなどの海底
資源分野、洋上風力発電や潮流発電など
海洋由来のエネルギー開発、さらには
水素の利活用分野など、様々な分野で
どういう様な方向を目指していくのか、
具体的に施策をどう展開するのか考えて
進めて参りたい。



水道局の経営改善について

低コスト化へ向け民間活力導入を進めて参ります!

Q 坊やすなが議員 決算特別委員会 水道局
平成30年10月1日

多額な管路の更新には、民間事業者を指導し低コストにする努力が必要だと思ふが。



高度経済成長期に、水道管だけではなく、様々なインフラが急激に整備され、その更新時期を迎えている。インフラの更新には多額の費用が必要となることから、少しでも費用を抑えることが1つの大きな課題と考える。

神戸市は起業家を自然と生み出す仕組みを構築することを目指し、ITを活用した成長型起業家(スタートアップ)の支援を行っている。IT化が進む中で、派生した様々な技術等が多く生まれている。水道業界は小さいが、そこが主体となった技術革新以外のアイデアも取り入れていく必要があり、取り入れられるものがあると思う。そこで、民間事業者を指導しながらより低コストにする努力が必要だと思ふが、見解を伺いたい。

また、多額な管路の更新にあたっては、工事の数が増えないと更新が進まないのは当然だが、職員は増えるのであれば、極力増やさないことが大切であると思ふが、見解を伺いたい。

A 水道局局长

地元企業の技術力向上を図り、参入できる企業を増やす努力をしている。

水道管路は、地中に埋設されており、実際に掘削してみないと現状把握が難しく、整備や更新に関するリスクを民間事業者に負担してもらうことがなかなか難しい。

しかし、民間事業者との関係では、平成27年度から神戸市建設協力会や神戸市測量設計協力会と連携して設計講習会、配管講習会等を開催する等、地元企業の技術力向上を図り、参入できる企業を増やす努力をしている。

一方、IT関係等の取り組みも注視していかなければならないと思っており、最新の知見を入手しながら官民連携を進めて参りたい。

現計画では、平成31年度に年間40kmの配水管更新を予定している。その中で設計業務は、平成26年度までは全て直営で行っていたが、平成27年度からは全て地元を中心としたコンサル会社に発注し、工事量が増加しても職員を増やすことなく、対応できるように計画して進めている。

スタートアップ支援施策の現状と今後の展開

スピード感を持って進め参ります!

Q 坊やすなが議員 6月定例会 企画調整局
平成30年6月25日

神戸経済の持続的な成長には、成長型起業家の集積と既存産業との融合が重要である。



今後の神戸経済の持続的な成長を目指していくためには、成長型起業家を集積し、都市を成長させていくとともに、既存産業との融合を図っていくことが重要であると考えます。

神戸市ではこれまで、シリコンバレーを拠点に世界50カ国1500社以上を支援するシード投資ファンド「500 Startups」をはじめ様々な起業家育成支援事業を講じていますが、全国の自治体で起業家支援が行われるなかで、神戸市が更に存在感を増すためには、効果的な施策を、スピード感を持って更に積極的に展開していく必要があります。これまでの成果、及びそれを踏まえた上での今後の展開について伺いたします。

六甲山・摩耶山の活性化について

神戸ビーフを観光の目玉として政策を進めて参ります!

Q 坊やすなが議員 9月定例会 総括質疑
平成30年10月12日

神戸ビーフ館を六甲山牧場に誘致し知名度、集客能力のある「道の駅」整備を



ビザの緩和によって一気にインバウンド(訪日外国人旅行)客が増えた。世界的コンテンツである神戸ビーフを前面に出していくことが、神戸にとって非常に重要だと思っている。

兵庫県が本格的にオープンを予定している神戸ビーフ館を六甲山牧場に誘致し、さらに国内知名度、集客能力のある「道の駅」を組み合わせ整備して頂きたいと思っている。また、六甲山牧場を有効活用し、観光客が牛自体を見れる場所づくりや、但馬牛の供給を増やすために繁殖等を神戸市がやっていく事が重要だと思っているが、見解を伺いたい。

また、社会実験として、都心からまやビューライン及び六甲ケーブルを繋ぐ急行バスを運行しているが、広報不十分であり、また観光客にバスの乗り場が非常に分かりにくいとの事である。六甲山・摩耶山へのアクセス改善は極めて重要であると思ふが。

A 岡口副市長

今後、神戸ビーフ館の誘致など、「道の駅」整備の可能性を探っていきたい。

「神戸ビーフ館」は、県が2023年度を目処に候補地選定を進めていると聞いています。六甲山観光の活性化は、市・県にとっても大変重要な課題であり、その一翼を担う六甲山牧場の魅力アップや集客といった観点からも、引き続き県に働きかけていきたい。また、「道の駅」としての整備というご提案については、六甲山牧場の活性化や魅力アップ、知名度向上に確かにつながると認識している。今後、神戸ビーフ館の誘致など、どのように集客力を高めていくかの検討を進め、「道の駅」整備の可能性を探っていきたい。

但馬牛の繁殖機能強化は、技術や人材育成などの課題もあるが、市として前向きに取り組むたいと考えている。

アクセス案内については、徹底した広報PRの戦略を展開していきたいと考えている。



坊議員

A 玉田副市長

従来からの取り組みを通し、神戸におけるスタートアップエコシステム形成を加速させていきたい。

神戸市では、若者が挑戦でき、輝けるまち、そして選ばれるまちとなるよう、起業家の成長支援を中心に、企業・大学・投資家・金融機関などが有機的に繋がるエコシステムづくりを行っております。

500 Startups と連携したプログラムは引き続き実施予定であり、特に議員の補助力により、チャットワーク社が谷上に進出したり、さらに大手IT企業が新たに開発拠点を設置するなど、兵庫県との連携事業として、スタートアップ企業の立地を促す補助に加え、地元企業や起業家、大学・研究機関などがイノベーションを創出する拠点に対する補助制度を創設しております。

従来からの医療産業やヘルスケア分野等でのスタートアップ・ベンチャー支援も進め、神戸におけるスタートアップエコシステム形成を加速させていきたいと考えております。



お問い合わせ・あらゆるご相談は
神戸市議員

坊やすながまで

〒651-1301 神戸市北区藤原台北町2-11-6
TEL 078-983-1711 FAX 078-983-1719
E-mail yasunaga.bo@gmail.com

山口由美

情熱市政

NEWS



プロフィール

発行：自由民主党神戸市会議員団
神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL.078-322-5846

- 1980 岐阜県岐阜市に生まれる
- 1994 事故により車椅子生活となる
以後、講演活動・車椅子陸上を始める
- 2001 トレーニング環境を求めて神戸市に単身転居
- 2002 愛知学院大学文学部心理学科卒業
車椅子陸上において日本代表入りを果たす
フェスピック・プサン大会にて金メダル獲得
- 2004 パラリンピック・アテネ大会出場

- 2006 ワールドカップ(英)にて銀メダル獲得
現役引退
- 2007 神戸市会議員選挙にて初当選
- 2011 神戸市会議員 2期目当選
- 2015 神戸市会議員 3期目当選
- 2016 福祉環境委員長、政調会長を拝命(1年間)
- 2017 未来都市創造に関する特別委員会 委員長を拝命



29年度決算を審議しました。



決算特別委員会・第1分科会の様子



こども家庭局審査での質疑の様子

詳しくは中面をご覧ください

ご挨拶

お世話になっております。山口由美です。

今年も終わりに近づいてきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

神戸市会では、報道等ですすでにご承知かと存じますが、決算審議において様々な動きがありました。行政とは何のために存在しているのかを改めて考えさせられました。一方で私は市民目線で何が重要なのか、私が取り組むべきことは何なのかを考えながら、日々活動しておりました。特に最近、仕事上での失敗を悔やむ日々ではありましたが、その失敗を教訓にして、以前にも増して日頃の勉強と広聴活動に励んでおります。今回は神戸市財政の課題を、私なりにまとめてみました。私の市政への提案も含めて、ぜひご覧いただき、ご意見をお寄せいただくと幸いです。

今後ともご指導のほど、よろしくお願いたします。



ご意見・ご感想は…

TEL 078-322-5846 FAX 078-322-6164 E-mail.yamaguchi@yumiguma.com

HPもご覧ください

<http://www.yumiguma.com/>



七転び八起き日記 ブログ更新中!

情熱市政 TOPICS ①

神戸市財政の現状と課題

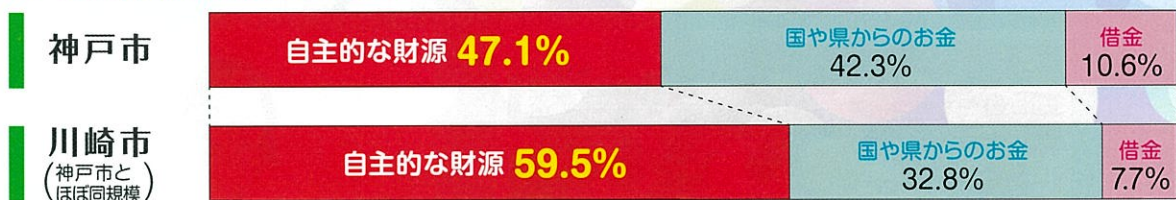
現在の神戸市財政における課題に向き合い、明るい未来を。

収入

神戸市の主な収入

	自主的な財源		国や県からのお金				借金
	市税	使用料など	地方交付税	譲与税・交付金	県補助金	国補助金	
原資	<ul style="list-style-type: none"> 個人市民税 法人市民税 固定資産税 など 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が払う施設利用料 など 	<ul style="list-style-type: none"> 所得税 法人税 酒税 消費税 など 	<ul style="list-style-type: none"> 個人県民税 地方消費税 車関係税 など 	<ul style="list-style-type: none"> 個人県民税 法人県民税 事業税 など 	<ul style="list-style-type: none"> 所得税 法人税 所得税、贈与税 消費税 など 	市債

自主財源の割合(平成29年度決算値ベース)



山口由美の想い

- 1 もっと市民の希望に合った行政サービスがほしい!!
- 2 将来世代への負担を減らしていきたい!!

例えば...

神戸経済の活性化(インフラ整備・起業支援など)

自主財源を増やす施策が必要!

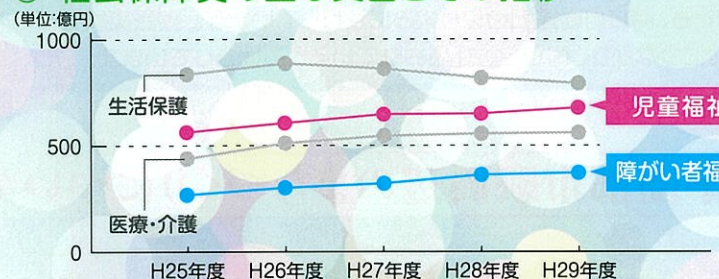


支出

神戸市の主な支出

毎年かかる費用(義務的経費)			繰出金	物件費等	投資的経費	その他
社会保障費 	人件費 	借金返済 	<ul style="list-style-type: none"> 市バス事業などへの支援 	<ul style="list-style-type: none"> 区役所の運営費や光熱費などの改修 地域団体やNPOなどへの補助金 など 	<ul style="list-style-type: none"> 道路や公園などの改修 三宮や西神中央などの駅前再整備 など 	

社会保障費の主な支出とその推移



医療・介護のみならず子ども・障がい分野もどんどん増えている!

山口由美の想い

- 1 福祉が充実することはありがたい、もっと充実してほしい!!
- 2 今後、福祉の予算が増えていくことをすべての市民の方に理解してほしい!!

福祉予算の中でも節約したり、循環させたりしながら、本当に必要な予算を確保する!



情熱市政 TOPICS ②

山口由美の市政への提案

将来誰もが笑顔になれる街づくりのために。

29年度決算特別委員会・第1分科会(こども家庭局審査)

01

区役所の保健師の増員

保育現場から保健師さんを増やしてほしい!と聞いています。



虐待予防や支援が必要な家庭にもっと寄り添うためにも増員を!!

02

保育施設での医療的ケア児の受け入れと実態調査

医療的ケア児に関する施策の現況を確認させていただきます。



医療的ケア児	
保育施設での受け入れ	実態調査
民間+公立=5施設で31年2月より正式に受け入れ開始(11月より申込み開始)	30年3月末~6月末まで実施 11月 第3回医療的ケア児の支援施策検討会議で結果報告

03

公立保育所の見直し

公立保育所の見直しに向けた再編計画を作ってください!



計画を策定します。

04

病児保育




医療機関併設型という枠にとられず訪問型などの新たな手法も検討してください!



検討の場を設けます。

情熱市政 TOPICS 3

神戸市での地域内交通の実例

類型	コミュニティバス		自動運転移動サービス 実証実験
	バス車両	ミニバン車両	
エリア	東灘区住吉台	垂水区塩屋地区	北区筑紫が丘
運行形態	定時定路線型 (住吉台⇄JR住吉駅)	定時定路線型 1系統:12便(平日・土) 2系統:10便(平日・土)	定時定路線型 呼出型
運賃	大人210円/子ども110円	大人300円/子ども200円	無料(実証実験時)
運行事業者	みなと観光バス株式会社	山陽タクシー株式会社	みなと観光バス株式会社
車両			 2017年の実証実験で使用した車

今後、他エリアでの展開も検討中!

現在、市内で実施されている事例の中でも、特に自動運転の取り組みに注目しています。実証実験では、住民の移動ニーズや事業の課題の把握につながり、国からも評価されているとお聞きしています。



山口

情熱市政 TOPICS 4

学園都市駅周辺のまちづくりについて

**キャンパススクエア
来春 リニューアル完了!!**

1F

北館

本館

東館

エレベーター増設

2F

立体駐車場から本館へのスロープ新設

北館

東館

本館

現在リニューアル工事中のキャンパススクエアは、駅前のにぎわいを考える上で大切な施設の1つです。今後は東館のバリアフリーも含めて、学園都市駅周辺が、子ども・若者・高齢者など全ての人が集いやすい、にぎわいが増すエリアとなるよう、働きかけていきます。

※区画割りは若干変更になる場合があります。

山口

神戸市会議員



岡田ゆうじ

市会議員団市政報告

真剣勝負！神戸再生宣言！

- 【岡田ゆうじプロフィール】 ●1978年6月25日生まれ
●慶應義塾大学法学部卒、慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了
●国会議員政策担当秘書資格試験に合格 ●参議院議員末松信介政策担当秘書
●2017年10月神戸市会議員補欠選挙にて27,279票を得て初当選

2018.12 No.12 認知症でも安心

認知症は高齢社会のわが国に突き付けられた深刻な課題です。厚労省などによると、2015年現在、国内に**認知症高齢者は約520万人**いると推計され、2025年には約700万人に膨れ上がるとされています。**65歳以上の5人に1人が認知症**となる計算です。



認知症男性が亡くなったJR東海の駅。ホーム端の階段から線路に降り、新快速の列車と接触した。

そんな中、2007年に愛知県大府市で起こった事故は、全国の注目を集めました。認知症で「要介護4」だった当時91歳の男性が、当時85歳だった妻がうたた寝をした隙に外出し、駅ホームから線路に降り、電車にはねられ死亡したというもので、JR東海が列車の遅延損害金など約720万円の損害賠償を求めて、遺族側を提訴しました。

地裁判決は「見守りを怠った過失」があるとして、**妻らに請求全額にあたる約720万円の支払いを命令**。高裁判決でも妻の責任を認めた上で、約360万円の賠償が命じられました。遺族にとっては、家族を亡くした悲しみの上に、畳み掛けるような苦難となりました。

最終的には最高裁で逆転判決が出て、妻らの賠償責任を認めず、J R東海の敗訴となりましたが、認知症高齢者が引き起こした事件、事故の責任は誰が背負うべきなのか、改めて考えさせられる契機となりました。

本訴訟以来、大府市や神奈川県大和市、福岡県久留米市などで認知症高齢者が引き起こした事故や加害行為をカバーする、賠償責任保険制度がスタートしています。神戸市もこの流れに続く認知症対策「神戸モデル」を策定しましたが、「神戸モデル」は賠償責任保険制度だけでなく、被害者には見舞金を支給し、認知症の診断費用も助成するという、全国でも例を見ない総合的な認知症対策です。

見舞金制度では、認知症高齢者が起こした火災や傷害などの事故に巻き込まれた被害者に、市が最高で3千万円を支給するもので、発生場所は市内外を問いません。

賠償責任保険制度では、認知症と診断された人を対象とした賠償責任保険に神戸市が加入し、本人や家族が賠償責任を追った場合に**最大2億円を支給**するものです。その他24時間365日相談できるコールセンターの設置や、GPSシステムによる非常時駆けつけ検索サービス、そして認知症の疑いを判断する「認知機能検診」と、認知症であるか確定する「認知機能精密検査」に要する費用を助成する制度も創設されます。

「神戸モデル」の実施に必要な予算は**3億円**。神戸市は市民税均等割（年額3,500円）に、月額約34円を上乗せすることで、財源とする方針です。

認知症高齢者は今後も増え続け、事故が起きるリスクはさらに拡大していきます。**認知症高齢者も安心して暮らせる神戸市、垂水区の実現**を目指し、神戸市会でも積極的に議論して参ります。

認知症になっても**安心**して暮らしていけるまちへ

神戸市では、全国初となる認知症対策の「神戸モデル」の実現に向けて取り組んでいます！

全国初「神戸モデル」4つのポイント

① 65歳以上は、自己負担ゼロで医療機関における2段階方式の認知症診断が受診可能

② 認知症と診断された方は、市が賠償責任保険(最高2億円)に加入するなど手厚い支援を提供

③ 神戸市民が認知症の方が起こした事故に遭われた場合、見舞金(最高3千万円)を支給

④ これらの費用負担を将来世代へと先送りすることなく、市民のうすく広いご負担で賄う仕組み



「垂水区で長生きして良かった」と思える街にしたい

神戸市会議員 垂水区 岡田ゆうじ

〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂3丁目18-20
TEL: 078-785-5171 / FAX: 078-785-5172

岡田ゆうじ
ホームページ
www.okadayu.ji.net
mail@okadayu.ji.net



自由民主党 神戸市会議員団 団長

この黄色の桜は、復活大作戦を繰り広げている
須磨浦賞鯨象(すまうらふげんぞう)桜です。

安達和彦市政報告会

開催のご案内

2019年2月9日(土) 18時30分開会

【会場】 ANAクラウンプラザ神戸 10F ザ・ボールルーム
(神戸市営地下鉄「新神戸駅」下車)

【会費】 10,000円

【お問い合わせ・連絡先】 安達和彦事務所

〒654-0023 神戸市須磨区戎町2-1-10-105 ☎ 078-735-3322



2019 安達和彦新春市政報告会のご案内

謹啓

平素はお世話になり、誠に有難うございます。

お陰様で、現在21名の議員を抱える神戸市会最大会派、自由民主党神戸市会議員団の団長として活動させて戴いております。

開かれた議会を目指し、議員間討議や議員提案条例の制定など積極的に取り組んでいるところであり、2月12日より3月20日までの会期で平成31年度予算市会が開催される予定であります。予算市会開会前の2月9日(土)、下記の通り市政報告・懇親会を開催し、日頃の市会活動の一端をご報告申し上げたいと存じます。その後、恒例の懇親会を行います。

お忙しいとは存じますが、是非ご出席賜りますようご案内申し上げます。

平成30年12月吉日

敬具

〔日 時〕 平成31年2月9日(土) 午後6:30～

〔会 場〕 ANAクラウンプラザ神戸 〔会 費〕 10,000円



皆様のご出席を心からお待ちしております。

神戸市会議員 安達 和彦

安達和彦 新春市政報告会

- 日時
2019年2月9日(土)
午後6時30分 開会
- 会場
ANAクラウンプラザ神戸
10F ザ・ボールルーム
- 会費
10,000円

〒654-8790
郵便はがき

654-8790

料金受取人私郵便

須磨局
承認

469

差出有効期限
平成31年2月
末日まで

切手不要

安達和彦事務所 宛

神戸市須磨区戎町二一〇一〇五

※ご出席の方のみご投函下さい





皆さんこんにちは、神戸市議員の山下てんせいです。
今回は 9 月市会及び 12 月市会の報告をさせていただきます。今市会においては、新聞でも報じられたヤミ専従問題に端を発した不適正な勤務体制について、第三者調査委員会が設置され、その調査報告を 11 月に受けると言う市長の発表を受け、平成 29 年度決算は前代未間の継続審議となっております。今回はその経過も含め皆様にお伝えします。

2018 年 12 月吉日 自由民主党神戸市議員団 山下 てんせい

自由民主党神戸市議員団は、チェックオフ廃止条例案を提出しました

自由民主党神戸市議員団は、総務財政委員会および決算特別委員会の審査を通し、市職労が新規採用職員研修後の会場を利用して組合勧誘活動をしている実態と、その活動が職員の自由意志に基づく加入を阻害している可能性を問題視しています。

また**給与から組合費を天引きする制度（チェックオフ）**を廃止する事で、市職労に対する便宜供与により、馴れ合いが生じている不健全な労使関係を正し、市政に対する市民の信頼を得ることになるという考えのもと、10 月 25 日に議員提出第 38 号議案「神戸市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案を提出しました。

なお**本提案は、いわゆる組合貴族と、当局との癒着構造を正す事が目的であり、組合自体を否定しているものではない**事を強調させていただきます。

11 月 30 日の総務財政委員会において、本提案について白熱した議論が展開され、更なる協議の時間が必要との見解から**継続審議**となりました。

平成 29 年度 決算特別委員会審査において、質疑を行いました。

[行財政局] 9月27日全3問

Q・円滑な避難所開設、運営について

山下てんせい

「避難所開設・運営は、原則として区長の指示により、区の総務部が指揮をとっているが、訓練不足を露呈したお叱りの声を頂いている。そこで日頃からの自主訓練や地域、他部局と一緒に行動していく必要があると思いますがいかがでしょうか」

行財政局 遠藤局長

「区役所においては総務部長が防災担当部長、総務部が防災に対して軸となる位置付けである。区の主催は当然のことながら、地域が主催する防災訓練について、区の職員もできるだけ参加し、地域の状況を把握しながら、災害発生時の対応力強化に繋げていく必要があると考える。行財政局からもそのように各区に働きかけていきたいと思う」



▲3月21日春日台避難訓練にて

[企画調整局] 9月28日全7問

Q・神戸のまちの魅力創造について

山下てんせい

「神戸 2020 ビジョンでは、若者を引きつける魅力作りを基本的方向の一つとして掲げている。これまでの進捗はいかがでしょうか」

企画調整局 谷口局長

「新たな魅力創造の具体策として、奨学金返済支援や、都市型創造産業統括プロデューサーの活用による産業集積などを進めてきた。また内外への発信はプロジェクトチームを組み合わせながら、また市民・民間事業者や専門家などたくさんの方々の参画を得ながら進めていく」

山下てんせい

「若者を引きつけられる地力について。神戸で住む上で困っている視点もまた大切だと思います。例えば安くて栄養のあるものが食べられる食堂など、若者に寄り添った住みやすさという魅力作りはかんがえられないでしょうか」

企画調整局 谷口局長

「若者が何で困っているかということをつかんだ上で、人を集めていく具体的な仕掛けやアイデアは考えるべきであると考えている」

[市民参画推進局] 10月5日全3問

Q・「フルートの街神戸」の浸透について

山下てんせい

「フルートのまち・音楽のまちについては是非提案したいことだがフルートの音色を街中で聴くことが少ないと感じます。そこで BGM としてフルートの音を採用する等は考えられないでしょうか」

宮道文化交流部長

「駅やまちなかでの BGM を流すことは可能であると考えてるので市民のみならず観光客の利用する交通機関や商店街などにおいてフルートやジャズを BGM としてうまく使えるように考えていきたい」

なお、このち 11 月 14 日に文化交流課より「市営駐車場の BGM でフルートのまち神戸を PR します!」の報せが入り、わずか 1 か月で実現しました。



10月26日一般質問にて登壇し、質疑を行いました。

Q・都市空間向上計画について

山下てんせい

「『山麓・郊外居住区域』にあたる住民からは、地価の下落等による財産への影響を不安視する声も聞いている。郊外の住宅地の活性化策を計画とセットで打ち出していくべきではないでしょうか」

岡口副市長

「ご指摘の通り、市民の皆様が不安を抱かないよう『山麓・郊外居住区域』においてどのような施策に取り組んでいくのかを計画で示す事が重要である。方向性としては6つの柱を示しており、

【良好な既存ストックの活用】空家のリノベーション、オフィスや子育て支援機能、福祉機能などを導入する。

【生活関連サービスの確保】保育所など生活に必要な身近な施設を適切に配置、または施設へのアクセスを確保する。

【市街化調整区域との連携】西区や北区のように都市近郊に豊かな農村地域がある特徴を活かした、職住近接や地産地消などの取り組みを進めるなど、人口が減少する中でも良好な住環境を形成していく事が目的である」

Q・ベジタリアンに優しい神戸に向けて

山下てんせい

「訪日外国人の中には、ベジタリアンやビーガン（卵や乳製品も禁じている）など、宗教や思想上の観点から食事の制約がある方も多くいらっしゃいます。日本は彼らにとって決して優しいとはいえません。更なる訪日外国人観光客誘致のために、食の多様性への対応は必須と考えるがいかがでしょうか」

岡口副市長

「ベジタリアンの対応については、例えば人口の三割がベジタリアンと言われているインドでは、食品安全基準管理局がベジタリアンマーク表示制度を設け、マークの表示のない食品については輸入もできない状況であると承知している。

日本においてはこのような認証マークはあまり認知されていないが市としてどのような事ができるか、食品事業者や飲食店等の声をお聞きしながら研究していきたいと考えている」

Q・西神中央駅、学園都市駅へのデジタル案内板の整備について

山下てんせい

「西神中央駅や学園都市駅は、神戸市北西部の交通結節点として多くのバス利用者がいるが、バス案内板は老朽化が進んでいる。デジタル案内板を整備し、従来のバス案内だけではなく、運行状況や来街者への周辺地域の情報、広告を発信することで、利用者の利便性向上や駅周辺の活性化が期待されると考えるがいかがでしょうか」

久元市長

「バス事業者と「神戸市路線バス利用促進協議会」において、年3回程度バス利用者の利便性向上に繋がる取り組みについて協議を行なっている。その中で、デジタル案内板等の更なる機能向上を目的に、バスの遅れなどの運行情報をリアルタイムに利用者に提供するシステム改良の検討を行っている。費用や維持管理などの課題もあるが、出来るだけ早い時期にデジタル案内板の設置に向けて取り組んでいきたい」

市会西区 山下てんせいの活動は [facebook](#) またはホームページにてご覧ください。
山下てんせい 検索 会派 HP <http://www.jimin-kobe.com/>



前代未聞の決算継続審議に至った経過について

9月4日神戸新聞が**ヤミ専従問題**を報道し、翌日神戸市はヤミ専従についての「第三者調査委員会」設置及び調査を行う旨発表した。

～常任委員会～

9月19日都市防災委員会にて、**山下てんせい**が本件関連質疑を行い、**現市労組委員長が週1～2回しか在席しておらず、それも短時間であったことが発覚した**。これを受け経済港湾委員会においても上畠議員が本件関連質疑を行う。

9月20日総務財政委員会にて安達議員他が本件関連質疑した。

ここまですでに**市職労委員長ほか職員団体の本部役員が勤務実態と異なる不正な給与過払いがある疑惑が浮上する**。

～決算特別委員会～

第一分科会を中心に多くの議員が本件関連質疑を行う。その経過において、退職した元市職労委員長が神戸市共助組合に再就職した際、個室を与えられ、局長級を含めた市の幹部が出入りしている疑いが浮上した。また**新人研修初日に市職労委員長の講義と組合勧誘がほぼ一体化した研修が行われていたことが明らかになる**。また組合本部役員が出ている課には過員が付くという定数交渉も常態化していたことが発覚した。

10月4日神戸市が**12人に約5000万円の退職金を過払いしていたこと**、平成9年に作成された算定期間についての労使合意文書が職員部給与課で見つかったことを発表。

10月12日決算特別委員会総括質疑が行われ、市長より**第三者委員会に会期中の中間報告を求め議会報告する方針が表明される**。

10月15日決算特別委員会意見表明が行われ、自民、公明、こうべ市民連合ほかが決算議決先送り。維新、共産、新社会ほかが一部不認定を表明。共創国民民主は認定。

10月16日決算特別委員会意見決定が行われ、賛成多数で10月25日予定の決算議決先送りとなる。



～その後の審議について～

10月25日本会議終了後に決算特別委員会が開催され、追加の審査日程を決定。

11月26日市会運営委員会室にて理事会、当局からの報告を受ける。なおこの理事会においては、非交渉会派や無所属議員の傍聴が認められています。

ヤミ専従についての第三者調査委員会は、11月22日の中間報告において、勤務時間における**離席率**を公表しており、調査した**34人中13人が勤務時間の半分以上を離席**していたと公表しています。

12月3日決算特別委員会にて、不適正支出に関する報告事項に対して質疑。

12月4日改めて意見表明を行い、6日に賛成多数で決算が承認認定されました。

市政報告 (東灘区版)

新元号御大典奉祝だんじりパレード (仮称) 来年 5 月 1 日 岡本 山手幹線にて!

～ 現在 44 台 (灘、東灘、芦屋、西宮、宝塚) 参加予定 ～

山路ノ庄会の呼びかけによって上記のだんじりが集い、奉祝だんじりパレードが計画されています。全体の委員会会長に竹田 統 (吉田)、副会長 高嶋良平 (東明)、松田 毅 (田中)、廣瀬隆作 (深江) がそれぞれ就任され、次に会長より委員会の運営を任された実行委員会に石原英崑 (岡本)、副会長 保元伸介 (平野)、谷口典良 (西)、本岡秀夫 (田中)、その他、各地区から 3～4 名の会員から組織づくりがされ、住吉の吉田会館にて頻りに集い、成功に向けて活発に検討を行っています。現在出来ている計画はあくまで (案) ですが、ご報告させていただきます。

この件での顧問として兵庫県副知事 金澤和夫氏、神戸市副市長 岡口憲義氏、神戸市会議員 安井俊彦が決定しています。芦屋、宝塚の市長については検討中です。

パレード実施概要 (案)

【開催日】新元号元年 5 月 1 日 【時間】午前 10 時 だんじり集合 11 時 式典

【会場】山手幹線岡本交差点から森北町 3 交差点までを通行止めにして頂き、だんじりは岡本橋交差点から本山第一小学校南交差点からの間の所定の位置に西向きに停車します。式典の会場は岡本交番前付近 (バラ公園) を予定しています。

【その他】費用の問題、あらゆる所への許可願いの問題、広報の問題、そして何よりも安全確保の問題等、山積する問題について担当の皆さんは本当にご苦労されています。安井俊彦議員もその仲間に入れて頂き、竹田 統氏、廣岡俊司氏と共に多方面に気を配りながら微力を捧げています。

岡本 山手幹線 だんじり配置図 (案)



安井俊彦市議の本会議提案で、「六甲アイランドまちの将来像検討会」が始まる！

六甲アイランドが完成し、まちびらきをして30年——安井俊彦議員は六甲アイランド構想時代から議員として関与していたこともあり、責任と誇りを持って、この人類の社会的実験ともいえる海上の人工島で、いかに豊かで安全で活性化した町ができるのか、平成30年第1回定例会の本会議において質疑しました。そして住んでおられる市民の皆様はどのような想いなのかを調査し、更なる30年に向け、その方向性と反省と修正をするべきだとの提案に、市長も同意し、同検討会が発足してから現在まで第1回（7月20日）、第2回（10月17日）と開催されています。同検討会は、学識経験者、地元等12人で構成され、災害を含む利便性等、各方面で議論がなされており、実りある検討会となっています。結論は本年度中になる予定です。



御影山手ゴルフ場跡地における大和ハウス工業(株)の開発計画については御影山手まちづくり協議会相談役として理解できません！

発表された開発計画は多くの点で安井俊彦議員は理解が出来ません。

- ①御影山手は碁盤の目のようになっているが中で、擁壁のようなもので囲まれる大和村をつくられる感があり、「御影山手まちづくり協定」の第4条（まちづくりの基本目標）、第5条（まちづくりの基本方針）にそぐわない計画だと思えます。
- ②敷地東側は5.5～5.8m幅を確保し、行政の協力を得て無電柱化されるべきと思います。
- ③同計画地の東西道路をもっと増やしていただきたいと思えます。

等、いろいろあります。現在、御影地区まちづくり協議会山手部会長 太田省司さん、御影山手自治会長 葛籠勝彦さん他、多くの関係者の度重なる市への陳情により、1年半にわたって開発許可が出ていません。市は、大和ハウス工業(株)に対して、丁寧に地元と話し合い、調和をするよう、行政指導をしています。その結果、一部変更があり、1. 南側部分の擁壁を5.5mから4mに 2. 東西通行の貫通道路を一本設定する等、大和ハウス(株)も歩み寄っていますが、まだまだです。安井俊彦議員も地元の皆様の真摯な態度に対する業者側の対応に、幾度となく心を痛めています。

御影小学校設立110周年記念に世界の偉人嘉納治五郎特集を発刊！



神戸市立御影小学校が創立110周年を迎えるにあたり、同窓会長の高嶋良平氏（73）が指揮をとり、周年行事を進行している中で、御影が生んだ柔道家でもあり平和主義者、世界の嘉納治五郎を検証しようとの声があがり、御影小学校出身で、著名な郷土歴史学者でもある、姫路獨協大学副学長の道谷 卓先生にお願いし、この度の冊子が完成しました。内容も豊富で、地元御影との関係も詳しく書かれ、地元への愛を感じ御影らしい判断と各方面から高い評価を受け、全神戸市立小学校の副読本になる予定になっており、英訳も必要との声もあがっています。この記念誌は御影小110周年記念式典と御影公会堂で行われる祝賀会（久元市長参列）、また東灘区役所でも無料配布されました。安井俊彦議員もこの冊子の作成について、陰ながら尽力させて頂いた事を喜んでいます。

郡家文化伝統会館が神戸ではじめて誕生

御影地区郡家の現在のだんじり小屋がいろいろな事情で移転する事になり、神戸市建設局と区役所、そして地元の熱意によって、御影香雪美術館北側の香雪の杜公園の一部を使わせていただくことになりました。地区の子供達や近隣の人々や市民の皆様にも、だんじりを通じて地区の伝統文化を学んで頂くため、学習室等を設け、地元の人々が説明をしたり、経験をしたりできるよう、また外からも見えるように工夫された郡家文化伝統会館の地鎮祭が12月1日行われました。この件は、まず地元から安井俊彦議員に相談があり、自治会長の乾 三彌さん、建築委員長の高橋義一さん、同副委員長の田中伸介さん、そして発案者の田中義幸さんらが陳情を繰り返して、実現に向かいました。設計には、だんじりに精通されている鍵田武志氏が行いました。また他地区ではありますが、弓場の濱田智司さんも裏面で調整役を果たす等、御影の融和を図る上でも、大きな実績をあげられました。



恋野温泉「うはらの湯」(住吉スーパー銭湯)がオープンしました!

平成30年10月1日オープンし、順調な滑り出しです。安井俊彦議員も9月28日プレオープンに参加し多くの方々と内覧させて頂き、その快適さとリハビリ等に気を配った利用者の方々に対する細かい気配りがされている施設に感動しました。更に今回より利用者の方々の為に貸バスタオルを無料にて貸出されます。又ポイント制度を導入し、利用しやすい料金を目指します。更に福祉健康に貢献する為に甲南病院と組んでの健康相談も10月9日、10月22日、11月7日と開催され多くの人々に喜ばれました。次回は2019年1月7日(日)糖尿病 14:00~16:00; 1月21日(月)心不全 14:00~16:00; 2月8日(金)自由相談 10:00~12:00 ※セミナーは無料ですが、入館料が必要です。【お問合せ】TEL:078-854-1163

懸案の保久良山トイレ維持問題が解決へ

10年以上前から保久良山頂トイレの維持のための費用負担が地元で大きな問題となり、これ以上は困難であった。地元から相談を受けた安井俊彦議員は東灘区長室で、地元の宗田さん、中西さん、副田さん等と協議を重ね、策を重ねた結果、トイレの所有者を神戸市に移管するが、管理、清掃については地元が負う案で、ほぼまとまりました。15年前、地元と区役所と安井俊彦議員の努力でつくったトイレですが、利用率も高く、地元負担が大きくなっていました。この解決のために、地元の団結と良好な人間関係と区役所の努力、そして保久良山登山会の皆様の日頃のトイレの管理が、今回の良い結果となりつつあります。(平成31年度実施予定)

施設	現所有者		新所有者	備考
トイレ	保久良山トイレ運営委員会	寄付 →	神戸市	清掃等は引続き、トイレ運営委員会でお願ひします。(市からの助成金有り)
ポンプ	北畑財産区			敷地のご寄付をお願ひします
給水管・タンク	北畑財産区			

法律市民相談室開設 事務所にて弁護士が増強

安井俊彦市会議員は市政に関する事や個人的な悩み、問題をご相談いただき、関係官庁にお繋ぎしたり、安井自身が足を運んで実地見分をさせていただいたりしています。その中でも昨今は、遺産相談や近隣、会社でのトラブル、又結婚、離婚等、法律に関する事が多くなってまいりました。こういった件に対処するために、安井俊彦無料市民相談に強力な仲間、佐久間玄任氏が加わりました。佐久間氏は地元、灘高から東京大学教養学部理科2類、農学部農業経済学科、京都大学法学部を卒業後、公認会計士試験に合格し、甲南大学法科大学院に在学中に司法試験に合格された、公認会計士・弁護士です。幼い頃から安井俊彦の市政報告会に家族で参加して下さり、いつか人々のために働きたいとの思いを持ち続けておられました。そして今回、安井俊彦事務所の一員(相談役)として共に皆様のお役に立ちたいと願っています。



【(法律・会計)相談日】12月から第1、3土曜日の午後1時~

※無料 但し、訴訟等、手続き費用は除きます

【場所】安井俊彦事務所

神戸市東灘区御影本町2-15-27

TEL (078) 842-3020

FAX (078) 841-3090

2019年第1回市政報告会ご案内

神戸市会議員 安井俊彦

寒気の候、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、下記の通り市政報告会を開催いたします。何卒万障お繰り合わせの上ご
出席賜りますようお願い申し上げます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

講師 ① 久元 喜造市長

報告内容 これからの神戸市と東灘区

② 片山 さつき地方創生担当大臣

報告内容 これからの神戸市

③ 安井 俊彦市会議員

現在の市議会の報告 ヤミ専従

神戸市こどもを虐待から守る条例 防災 スポーツ等

日時 2月10日(日) 午後12時～(受付11:30～)

場所 神戸ベイシェラトンホテル(六甲アイランド)

会費 6500円

ご都合の程を1月25日までにお知らせ下さい

参加申込は、FAX(078-841-3090)までお願い致します

切り取り

2019年第1回市政報告会

●参加します

御氏名 ()
御住所 ()
御電話 ()

市政報告 (須磨区版)

あだち和彦

総括質疑において「ヤミ専従に関する違法な公金の支出」について質疑いたしました

平成30年第2回定例会市会が開会し、9月議会では、平成29年度決算及び関連議案を中心に審議を行いました。

決算特別委員会の局別審査では、私はみなと総局を担当し、総括質疑においても、市長・副市長に対し「ヤミ専従に関する違法な公金の支出」について質疑いたしました。



ヤミ専従
特集号

決算特別委員会 総括質疑 (質疑要旨・抜粋)

➤ ヤミ専従に関する違法な公金の支出について

Q【安達議員】歪んだ労使関係に基づき、長年にわたって慣例的に違法な公金の支出が行われていたという異常な事態であり、早急に徹底した調査による全容解明を行い、違法に支出された全ての公金の返還請求を行うべきであると考えている。

A【久元市長】これらの問題は、組合だけで行えるものではなく、当局が関与していたことは確実であり、ヤミ専従や退職手当の不適切な支給に係る返還請求については、第三者委員会の調査結果をもとに厳正に対処しなければならないと考えている。

このヤミ専従の実態というのは、まさに職場における勤務の実態、あるいはヤミ専従の実態であり、これは第三者委員会においてきちんと関係者の調査の聞き取りなどをし、情報収集をした上で、ヤミ専従が個々の組合役員についてどうであったのかということを経て、初めて給与の返還額が確定できるものであると考えている。

一方、退職手当については、退職時の給与月額に在職年数、さらに支給率を乗じて算定されるものであり、本来支給すべきであった退職手当の額と、過大に支給された額との差額は、これは当局において明らかにすることができると考えており、第三者委員会の調査を待つまでもなく、一人一人の元役員について、過大な額を算定し、速やかに返還請求を行っていきたい。

Q【再質疑・安達議員】労使交渉で、本来話をすべきではない人事あるいは予算等の管理運営事項についても、勤務条件に影響を及ぼす事項として拡大解釈をし、実質的に交渉が行われてきた実態があり、交渉外においても労働組合からの不当な人事、政策への介入があったと聞き及んでいる。

A【久元市長】神戸市における労使交渉において、管理運営事項について交渉が行われているのではないかとのご指摘が市会でもあり、またこの決算の審査にあたっての決算特別委員会の分科会でもそのようなご指摘を頂戴したため、改めて行財政局からこの労使交渉の状況について概略の説明を聞いた。

職員の配置、各行政組織の編成、人事配置等について、各段階にわたるかなり詳しい交渉あ

るいは意見の聴取、事前に当局の考え方の提示などが行われていたようであり、このような状況を私から見ると、管理運営事項を交渉しているのご批判を受けても仕方がないような実態がこれまでであったのではないかと考えている。

Q【再質疑・安達議員】市職労の前委員長に個室を無償提供しており、議会からの便宜供与との批判を受け、個室の使用を取りやめたとの新聞報道が昨日にあった。使用取りやめに際し、指摘を行っていた議会への報告を先に行っていたかと思えるが、その点はいかがか。また、その個室に数々の幹部職員、部課長のみならず、局長までもが日参していたという話を聞いているが、それは事実か。

A【岡口副市長】3号館9階の事務室については、実質的に市職労の前委員長である調査役が使用していたところであるが、現在の調査役の業務内容から見て、個室で執務する必要がないと共助組合において判断をした。それを受けて、本市として、10月11日に、使用許可の変更許可、取消しを行ったものである。

本件については、議会においてご指摘を受けた事項であり、ご指摘を踏まえ、今後必要な議会報告については適切に行っていきたいと考えている。

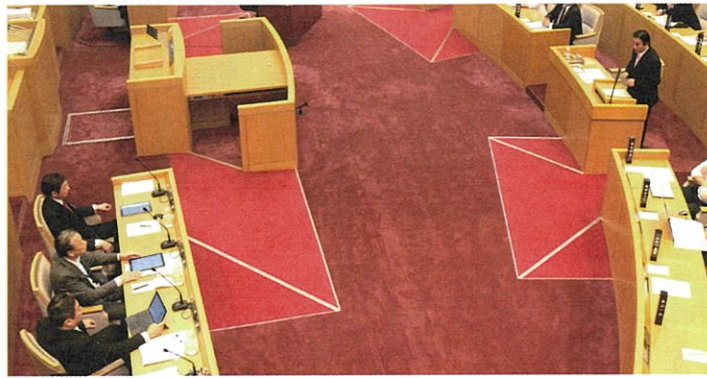
また、当該個室に幹部職員が日参していたというご指摘について、その事実については現在把握をしていないところである。

Q【再質疑・安達議員】神戸市の係長昇任試験は平成30年度から廃止された。しかし、勤務評価により昇任することになっている。それまでも、50歳代になって係長試験を受けずに係長になれる制度があり、これまで試験には通らなかったけれども普通の仕事ぶりを見て係長になれる、そういうチャンスがあることは非常に良い制度だと私は理解をしていた。しかしこのたび、この制度を利用して組合幹部が最終的に係長に昇任している例があったと言われている。

A【岡口副市長】人事委員会において実施していた係長昇任選考において、50歳以上を対象としたいいわゆるC選考と呼んでいたが、こういった選考を平成26年度試験まで実施をしていた。第三者委員会の中で、当該関係職員の勤務実態が明らかになり、それが先ほど申し上げた不当に高い勤務評価ということに繋がるのであれば、適切な対応が必要であろうと考えている。

Q【再質疑・安達議員】給与を受けながら職員団体のための活動を行うことを認める「職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例」の規定を拡大解釈し、ずさんな運用が行われていたことが、このヤミ専従が横行した原因の一つであるというふうに考える。ヤミ専従の温床となる「職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例」の廃止を検討すべきと考えるが。

A【岡口副市長】都道府県、政令市では、全ての自治体においても同じくこの条例が制定されており、条例そのものについて不適切であるとは考えていない。しかしながら、これまでに現行の職務専念義務免除の申請・承認手続きに基づかない不適切な取り扱いが明らかになっていることは事実であり、非常に重く受け止めているところである。



ヤミ専従について市長に対し質疑を行う安達議員



議員提出議案の説明を行う安達議員

第三者委員会の結果を待つことなく、職免手続きの見直しなど、私どもとして早期に改善できる部分については早期に改善を図りたい。

Q【再質疑・安達議員】職員団体への勧誘手続きについて、新規採用研修の講義と極めて不明瞭で一体的に見える形で連続して行われており、職員研修所が一連のプロセスに協力しているなれ合いの構造の実態も明らかになった。実際に加入している職員からは、加入せざるをえない雰囲気の中、本人の意向に関係なく、半ば強制的に加入させられていたとの声も聞いている。今後、職員団体への勧誘プロセスについて、当局としてどのように見直しが行われるべきと考えているのか。

A【岡口副市長】今後は職員団体等の役員にある職員が講師を務めるカリキュラムを実施せず、新規採用職員への辞令交付及び研修等が実施される会場内での職員団体等の勧誘活動についても認めない方針としたところである。

Q【再質疑・安達議員】新規の職員についてはそれで改善がされるだろうと思うが、今まで半強制的に組合に入会されている現在の職員についても一度入会の意思の確認をすべきと思うが

A【岡口副市長】継続して加入するかどうかは、各職員の判断にならざるを得ないと考えている。チェックオフについては、廃止や見直しをしている他都市もほとんどない。現実的には、現時点においてチェックオフをやめることは慎重な検討を要するものと考えている。大阪市の裁判例も含めて他都市の例を参考にしながら、あらゆる可能性を検討したいと考えている。

Q【再質疑・安達議員】今まさに平成29年度の決算を審議しているわけであるが、決算の中には、職員費に明らかに過払いの部分が含まれており、その金額は今明らかになっていない。その金額は明らかでない状態のまま決算を認定することは無責任であり、議会の権能を放棄したものといわざるを得ないと私どもは考えている。できるだけ早期に第三者委員会で、この29年度分について金額を明らかにしていただき、明らかになった段階で判断をしたい。

A【久元市長】安達委員から、第三者委員会からできるだけ早く報告を求めるようにとのご指摘をいただいたので、今会期中に第三者委員会から、例えば中間報告のようなものを受けるとして、議会に提出をさせていただきたいと考えており、その上でご審議をいただければと考えている。議員各位のご理解とご協力を賜りたい。

【要望・安達議員】モンスターを作り上げてきた一端を役所が担ってきたその責任というものもしっかりと認識していただきたい。



「チェック・オフ廃止条例」を提案！

この度の決算議会の審議を経て、今回の問題の本質はあくまで、市職員の職員団体等の活動における職務専念義務違反、いわゆる「ヤミ専従」であり、労使間の異常なまでの癒着であるが、そこに至った大きな要因は、強制的なオルグであり、チェックオフであることは明白である為、我々議員団全員と日本維新の会と共に「チェックオフ廃止条例」(「神戸市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の件」)を提案したところです。

11月30日の総務財政委員会での審査を経て、近々提出される第三者委員会の最終報告の中で、新しい事案も予想されていることから、継続審査となっています。



▲総務財政委員会でヤミ専について追及する安達議員

バルセロナ、ハンブルク・デュッセルドルフの管外調査を行いました



11月11日より18日までの8日間、神戸市とスペイン・バルセロナ市との姉妹都市提携25周年の記念行事に合わせ、バルセロナとともに経済交流著しいドイツ・ハンブルクと古くから日本企業が多く進出しているデュッセルドルフを訪問致しました。

バルセロナでは寺崎秀俊副市長、バルセロナ副市長の調印に同席し、ハンブルクでは、神戸

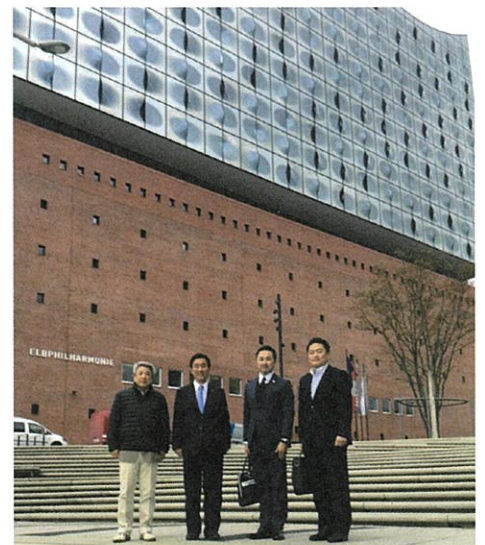


▲ハンブルクの議会のゴールデンブックに記帳

文化ホールの建替えに際し、大いに参考にしてもらいたいエルプフィルハーモニーホールを今回初めて中まで入って見せてもらいました。

デュッセルドルフでは進出している日本企業の数々を訪問させて戴きました。

詳しくは正式の報告書を後日作成致しますので、ご覧戴ければ幸いです。



▲エルプフィルハーモニーホールの前で

相談・問い合わせ先

自由民主党神戸市会議員団 須磨区支部

神戸市会議員

安達和彦

〒654-0023 神戸市須磨区戒町2-1-10-105

TEL (078) 735-3322 FAX (078) 735-1268

自由民主党神戸市会議員団室 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1

TEL (078) 331-8181 内線7060





自由民主党神戸市会議員団 副幹事長(長田区選出)

平井まち子

<http://www.55machiko.jp> 平井まち子 検索

[市会レポート 平成30年 第2回定例会市会(9月・11月市会)]

神戸市平成29年度決算の認定を延期 ヤミ専従問題を受け11月市会で継続審査、認定

9月市会 2018年9月18日～10月26日
平成30年度第2回定例会市会の前半の9月市会が、9月18日から10月26日までの42日間の日程で開かれ、平成29年度神戸市各会計決算を中心に審議が行われました。

決算議案に異例の対応

9月の常任委員会では自民党の質疑により、神戸市職員労働組合(市職労)の役員が給与を受けながら組合活動に従事するなどの、いわゆる「ヤミ専従問題」の実態が次々と明らかになりました。給与の過払いが含まれる決算議案について本会議や決算特別委員会で議論され、各会派の態度は分かれたものの、認定できないとの判断が多数となり、決算審査を9月市会閉会後も継続することとなりました。

このような決算認定の見送りは神戸市会始まって以来の異例の事態です。

不適正な支出額について調査するため、市長が設置した第三者委員会との中間報告を受けて決算審査を再開します。

予算や人事にまで交渉を行ってきたこと、組合の元委員長に個室を用意し格別の扱いをしてきたこと等、明確な不法行為とは言えなくとも、長年にわたり労使関係が歪められてきたことも明らかになっています。



神戸市のヤミ専従に関わる問題点

- ❑ 法で認められている7年を超えて専従休職を許可
- ❑ 退職手当の算定に法定期間を超える専従休職期間が含まれ、過払いとなっている
- ❑ 組合本部役員が所属部署に職員を追加配置
- ❑ 勤務条件以外の政策に関わる事項まで交渉
- ❑ 人事異動の事前協議の実施
- ❑ 新規採用研修で市職の委員長による研修、加入手続きを一連の流れで実施
- ❑ 市職労顧問(元委員長)に個別の執務室を提供
- ❑ 平成20年、総務省の「無許可専従に関する一斉点検」に実態を虚偽回答の疑いなど

チェックオフ廃止条例を提案

市当局の調査をただ待つのでは無く、議会として改善の手段は尽くしていく必要があることから、10月25日の本会議に、給与からの組合費の天引き(チェックオフ)を廃止する条例案を自民党と維新の会から提案。これまでの審議により、市職労への勧誘活動が不適当な形で行われていたことは明らかです。給与からの組合費の天引きを廃止することで、意思に反して半強制的に加入させられた職員を救済することが目的ですが、組合の弱体化を懸念する会派もあり、可決されるかは不透明です。

ヤミ専従対策を求め、決算を認定

チェックオフ廃止条例は継続審査

自民党、維新から提出した組合費の給与天引きを廃止する条例案は、総務財政委員会での審議が行われました。賛否が分かれました。議論が交わされましたが、人事委員会から慎重な審議を求める勧告があったことも考慮し、継続して審議することになりました。

附帯決議

市職員の職員団体等の活動における職務専念義務違反、いわゆる「ヤミ専従」の問題については、不適切な実態が次々と明らかとなり、市民の信頼を大きく裏切る結果となっている。今後、いわゆる第三者委員会の調査により、早急に事実関係の全容を解明し、関係者の懲戒処分などの厳正な対応を行うとともに、人事・行政監察・監査を始めとした既存制度の改革・強化に加え、外部専門人材の登用を含めた抜本的な対策を早急に講じることを強く求める。

採決を先送りした決算を再び議論

第三者委員会による中間報告を受け、12月3日に決算特別委員会の質疑が行われました。中間報告によると29年度決算に含まれる過払い給与は約29201万円(人数は44人)。市長はわが会派からの質問に、第三者委の最終報告を待ち返還請求を行う方針で、さらに平成25年まで遡り調査すると答えました。また便宜供与を行った当局側の処分にも触れ、「幹部職員の違法意識の徹底を行わなければならない」との決意を述べました。これを受け、29年度決算を左記の附帯決議を付して認定すると決定しました。

9月市会で可決した主な議案

◆平成30年度補正予算(11月補正予算)

認知症の人にやさしいまちづくりを進めるため、認知症対策「神戸モデル」の推進や、高羽小学校の教育環境の改善の実施等

主な内容

- ・認知症対策「神戸モデル」の推進 4,100万円
- ・神戸文化ホール改修 1億4,000万円
- ・農業生産施設等災害復旧支援 3億200万円
- ・神戸港災害防止支援 1億円

◆神戸市認知症の人にやさしいまちづくり条例及び神戸市民福祉振興等基金条例の一部を改正する条例

- 1.認知症と診断された者による事故の救済に関する規定の整備
- 2.個人市民税の均等割の税率の引き上げ
年額 3,500円→3,900円(3年間)
[施行期日]
2は平成31年1月1日
1は平成31年4月1日

認知症の診断助成制度や事故救済制度など「神戸モデル」の実現に必要な費用を市民の皆さんに薄く広くご負担いただく条例です。



議員提案条例

神戸市子どもを虐待から守る条例

自民・公明・市民連合の3会派から児童虐待を防止するための条例を提案しました。2月市会で可決、4月からの施行を目指します。

主な内容

- 虐待の疑いがある場合、保護者の2親等以内の近親者(祖父母)も子どもの安全確保に努める
- 市長は重大事案を市会に報告しなければならない
- 警察や裁判所への対応を円滑にし、法的な知見を得られるよう児童相談所(こども家庭センター)に弁護士を配置する

児童虐待の起こらない子育てに優しいまち

目指すのは…



児童虐待を許さず毅然と対応するまち

神戸市会ホームページ

<http://www.city.kobe.lg.jp/sikai/> 市会情報、議事録の閲覧ができます。議会議中継や録画もご覧いただけます。

11月市会 2018年11月28日～12月7日

9月市会で可決した主な議案

◆平成30年度補正予算(9月補正予算)

大阪北部地震を踏まえた緊急対策、7月の豪雨災害、台風12号・20号などの被害の復旧の実施等

主な内容

- ・ブロック塀等撤去補助 9,500万円
- ・公共施設ブロック塀撤去 1億8,500万円
- ・災害復旧等 79億7,800万円
- ・保育士の処遇改善 1億4,000万円
- ・(仮称)北神図書館等の整備 4,300万円



◆平成30年度補正予算(10月補正予算)

台風21号の被害の復旧や今後の高潮浸水対策に向けた調査等

主な内容

- ・港湾施設等災害復旧 82億1,100万円
- ・高潮浸水対策の推進 2億円
- ・土木施設災害復旧 3億1,300万円
- ・農林漁業施設等災害復旧 1億9,500万円
- ・学校施設等災害復旧 1億4,600万円
- ・消防施設災害復旧 7,300万円

決算特別委員会 平井まち子の質疑(抜粋)

平成29年度決算議案は決算特別委員会に付託され、3分科会に分かれて局別の審議が行われました。平井まち子は交通局、環境局に対して質疑を行いました。

地下鉄海岸線の収支均衡

問 地下鉄海岸線ではイオンモールの開業等により乗客が7%増加しましたが、ランニング収支はまだまだ赤字で、増客増収対策が必須である。周辺の環境による乗客の増減の動向の把握、それによる柔軟な対応を取っているのか。

答 (岸田局長) 来年の駒ヶ林駅の県市合同庁舎の供用開始、平成33年の和岬駅へのこべっこのランドの移転、またサッカーの観客増やラグビーW杯等のイベントの効果等、合わせて4、5千人の乗客増が期待できる。最寄り駅のPRや、沿線で海岸線を利用されていない企業等に地道に働きかけていくことも重要と考えている。

交通局

環境局

イベントへの適正な出務

問 環境局の事業所職員が、ごみ出しの啓発で地域の夏まつりへ参加する回数や人数が適切か過去に問題になったが、現在も減ってはいる。土日のイベントに出動している職員には超過勤務手当が平均して1人1回に1万4千円がかかっている。一見無料でブースを出してきてありがたいが、賄っているのは市民の税金。超過勤務手当が増加しないよう管理するべきではないか。

答 (清水局長) 広報啓発の場合は重要だが、参加の必要性を精査し、回数・時間等を最低限にするよう各事業所に通知を出してきた。引き続き取り組んでいきたい。

レジ袋等包装ゴミの削減

問 北区や西区をモデル地区としてスーパーと協定を結び、レジ袋の無料配布中止を行う一方で、レジ袋削減以外の包装ゴミ削減の気運は広がっていない。他の政令指定都市と連携し国や業界団体へ働きかけたり、市民へも啓発を行うべきではないか。また、主催のイベントでリユース食器の利用や容器の持ちこみなど努力できないか。

答 (清水局長) 国ではプラスチック容器の削減戦略の策定を予定している。他の政令指定都市と共に法制化も働きかけたい。リユース食器の利用はコスト面や衛生面で課題があるが、マイボトルなどの習慣化など一つ一つ広げる機会を作っていきたい。

市バスの路線・ダイヤの考え方

問 今年の4月に減便を行った4系統では、積み残しが発生し苦情が多く、9月にはダイヤを再度見直した。乗客数の状況やニーズを正確に把握できていなかったのではないかと。

答 (岸田局長) 4・40系統は乗客減による赤字傾向のため減便を行ったが、40系統の走らない長田駅前で予想を上回る乗客の集中が見られた。今回の件を踏まえて市民に不便をかけないよう配慮しながら取り組んでいきたい。

要望 単に鉄道駅に繋がれば良いのでは無い。区民が長田神社前商店街で買い物できるという生活目線で路線を考えてほしい。海岸線の利用客増にもつながる長田区の西北部から新長田駅へのアクセス向上等、公営交通として地域の活性化を考慮いただきたい。

平井は今年度、未来都市創造に関する特別委員会の委員長を務めております。本委員会は、三宮周辺の再整備構想を市長が提案したことを受け、議会として新たな時代の神戸のまちづくりを議論することを目的に平成26年度に設置されました。

今年度は都心・三宮周辺地区の再整備について調査・議論を深め、将来に向けた提言をまとめる方針です。

三宮の6つの駅を
ひとつの駅のように!



えきまち空間のイメージ

歩行者空間を充実させ
回遊性を向上!

2030年頃交差点東側を完成させ、交通状況を見据えながらフラワーロード、西側も歩行者空間とします。

◆「えきまち空間基本計画」の策定

9月に策定された「えきまち空間」基本計画など都心・三宮再整備の進捗状況について報告を受けました。「えきまち空間」基本計画とは、6つの駅と「まち」をつなぐ空間を、神戸の玄関口にふさわしく整備しようとするものです。またその核として、三宮交差点を中心に人と公共交通優先の空間「三宮クロススクエア」が計画され、自動車交通の流れも大きく変わります。

また、雲井通5丁目地区(サンバル・中央区役所・勤労会館)再整備にかかる事業協力者の優先交渉権者が決定し、新たなバスターミナルビルの提案内容が発表されました。このビルに新文化ホール、三宮図書館が立地する予定です。

様々な行政施設・文化施設の移転を伴うため異論もありますが、神戸の魅力を高めるための先進的なものを、スピーディに整備することが大切です。2025年に開催が決定した大阪万博に、ターミナルビルの完成を間に合やすことも求めていきたいと考えています



バスターミナルビルのイメージ

(応募者が作成したもので、そのまま実現されると決まったものではありません。)

◆都心の未来への提言を議論

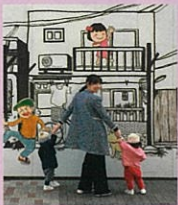
参考人による意見聴取も2度行いました。大阪市立大学の嘉名光市教授からは「大都市ターミナル駅周辺のまちづくり」をお伺いしました。市民の声により再コンペを実施したパリの再開発の例など、情報をオープンにしながらの都市計画づくりが参考になりました。また国内のターミナル駅の再開発例からは、神戸でもテーマ性やわかりやすさが必要と感じました。

また、三菱地所株式会社の藤井宏章氏からは「東京 大手町・丸の内・有楽町地区～エリアマネジメントによる街づくり～」をお伺いし、開発だけではない賑わい創出の仕組みづくりの手法について学びました。

こうした学識者や民間企業のご意見も提言に活かしてまいります。



平井まち子 自由民主党 神戸市会議員



- 1976年神戸市長田区生まれ(42歳)
- 池田小、西代中、長田高校、神戸大学(文学部史学科)卒業
- 神戸電子専門学校を修了、市内の広告代理店に勤務。
- 2005年10月の神戸市会補欠選挙にて初当選。
- 2007年市会議員選挙で10票差で惜しくも次点。
- 2011年、2015年再選。現在3期。

役職

- 自由民主党神戸市会議員団 副幹事長
- 未来都市創造に関する特別委員会 委員長
- 真珠神戸市会議員懇談会 事務局長
- INAC神戸を応援する神戸市会議員の会 会長

地域
活動

- 長田神社氏子会 参与
- 神戸金型工業会 相談役
- ケミカルシューズ工業組合 相談役
- 神戸市視覚障害者福祉協会 顧問

■自由民主党神戸市会議員団

中央区加納町6-5-1 市役所1号館28階
電話 078-322-5846 Fax.078-322-6164

■長田区支部 平井まち子事務所

長田区御屋敷通6-1-11
電話&Fax. 078-643-0647
(電話は月～金 9時～17時)
eメール machiko.h@earth.ocn.ne.jp

神戸市総合コールセンター
☎078-333-3330

神戸市の総合的な窓口です。
ぜひご利用下さい。

年中無休
8:00
～21:00